



昭和四年三月號

工事タイムス

鐵道

【殆んど無進行】も昨年末よりやつと湧水も
【だつた丹那隧道】 幾分減り輕土質も集塊岩に
變つて來たので導坑及水坑の進行も漸く目立つて
來た尙ほ坑内温度は60度位で坑夫は肌脱ぎで作業中
の由。

【揖斐川の】日本の大工事の一として短期
【ケーソン工事】 間の迅速と、工事設備の最新
最大なるを以て注目されて居た同工事は本年一月より
愈々第二線の工事に着手した、隅田川六次橋工事は
以來の釘宮繁氏が工事主任として益々設備の能率を
改善した本春の工事振りこそ注目すべきものである。

【鐵道】鐵道省では三月六日から二十日迄東
【展覧會】 京三越に於て鐵道の工事、營業、其
他一切に關する展覧會を開催する。

【三重縣の】は工費135萬圓鳥羽を起點に志摩
【志摩電鐵】 國を縦斷し神樂の離れ島賢島へ鐵
橋を架けて乗入れる延長16哩で工事は順調に進み5
月開通豫定、なほ離れ島への電鐵乗入れは全國で初
めての由。

【筑波高】の上野公園地下開鑿通過に關する出
【速鐵道】 願は東京市の恩賜公園委員會にて審
議の結果、原案の表土下12尺のケ所通過を60尺下に
改めて許可決定。

建築

○鐵道省の新廳舎 はルネッサンス式の近代的の設
計なり2月8日發表丸ビルと同大のもの。

○上野新驛 は工事330萬圓で五月着工決定。

【東洋一】 愈々本年五月起工する東京市の隅田
【の市場】 川口築地海岸の中央卸賣市場は敷地
5萬9千餘坪、建坪1萬7千餘坪、海陸の連絡設備
も完全なるものが出來工事費豫算1千6百萬圓と稱
さる、竣工は昭和6年である。現在市場の最大は京
都市設のものであるが、之れに次いで近く神戸市に
起工されるものよりも廣大である。

【京都市の】 の新築工事は來る5月中旬竣工
【中立小學校】 の豫定で本館は長40間幅5間半
中央に4間の袖を有するトンボ形をなし建坪3百坪
鐵筋コンクリート三階建である。別に貴賓室、地下
室及び雨天體操場を有して工費は33萬餘圓である。

【北平に】 外務省内の對支文化事業部では文
【大圖書館】 化科學と自然科學と兩方面の發展
を援助する爲め北平に工費五百萬圓の大圖書館を建
設せんと計劃中である。右は伊東忠太博士設計中
の由。

【上海にも】 外務省内の對支文化事業會
【自然科學研究所】 では尙ほ上海に理化學研究
所と傳染病研究所とを合した様なものを設立に決定
し建築設計は帝大の内田祥三博士と清水技師之に當
り鐵筋コンクリート建工費2百餘萬圓と稱される。

【神奈川】 の初聲村に御用邸建設の爲め約10
【三浦半島】 萬坪の土地を御買上げの由。

○東京市立第一中學校 は麴町永田町の舊村井邸跡
に近代建築を以て近く落成四月開校の由。

【國際】 大阪木津川尻の同工事は鐵骨格納庫
【飛行場】 其他も近く竣工。

道路都市工事

【大東京の】 兼て工事中の帝都復興道路の隨一
【並木道】 たる品川ハツ山、三ノ輪間の大道
路は世界一流の大都市道路と匹敵すべきもので延長
5,730米、幅員44米の大並木道路で既に大體の工事は
完了に近づいてをる。

○奈良縣 吉野郡下北山村大字浦向の林業家四十餘
名は笠捨土工森林組合を設立し延長約2里の林道新
設の計畫中、工費は約5萬圓で幅員8尺としこれが
實現の上は下北山村から瀨八丁へ出る上に非常に便
利になる。

市直轄の
既橋工事

来る五月開通の豫定なる東京市隅田川の既橋工事は市直轄工事として工事費の廉なる點は各方面の注意を引きつゝある。

○神奈川縣 横須賀三崎線の改修道路實施設計は内務省の認可があつたので次の要領で近く着工する由 工費29萬9千餘圓 延長287間餘、幅員9間、路面マカダム道。

昨年加上橋を
造つた阪出町

(香川縣)は鑿井水道を目下二ヶ所に工事中、阪出港の浚渫は豫定の8萬坪の内既に1萬5千坪を竣り目下は内務省及び香川縣の浚渫船三艘で一日2百立坪を浚渫しつゝある、之は明年中に竣工琴平急行電鐵の臨港線は建築費40萬圓の工事で用地問題に行惱中であるが、町では更に經費15萬圓で350間の臨港道路を計畫中である。

— 下 水 —

郊外の
下水工事

東京府下の南千住、三河島、日暮里の三町が組合組織で500萬圓の共通下水工事を計畫した、東京府及び東京市も之に贊助して市の三河島汚水處分場を利用する由。(東京府南千住町役場)

— 水 力 —

高岡發電所
起工

東京丸ノ内に本社を有する大洗川水力電氣株式會社の宮崎縣東諸縣郡高岡町に於ける出力3万千瓦ソットの水力發電工事は昨年準備工事中なりしが最近愈々本工事に着手の由。(詳細各工事欄参照)

— 會及び團體 —

萬國工
業會議

本年十月二十五日から東京に於て開催される同會へ提出される我國の土木建築に關する論文及び氏名37頁参照。

工政會

は一月二十二日電氣俱樂部に於て今秋の萬國工業會議及び世界動力會議東京部會に關する講演會を開催して古市、斯波、加茂の兩會議主腦者其他役員の出席あり盛會であつた

土木建築請負
業者聯合會

が主となり目下政府が議會に提出せる『勞働者扶助法案』に對し業界の特種事情を無視した法案なりとして反對運動中であつたが二月十二日芝協同會館に全國業者の緊急大會を開いて大に氣勢を上げた、尙ほ同會は代案として『國營業務災害保險法』の制定を請願しつゝある由。

港 灣 協 會
Harber Week

同會本年の總會は4月21日大阪市に於て開催と決定、各港灣關係技術家官吏實業家等約700名出席申込の由、尙ほ23日は大阪市の築港工事竣工式を盛大に舉行する由。

— 雜 錄 —

東京電燈の
技術關係人事

前工務課長の神原信一郎氏は取締役付に、赤澤政五郎氏は取締役付兼工務課千住出張所長に、前企畫課長安藤彌助氏は工務課長に、前工務課長江澤龜次郎氏は同工務課長に、山倉嘉一郎氏は工務課土木係長に、中澤眞二氏は工務課電氣係長に各任命。

日本ヒュー
ム管の活躍

導管界に一新紀元を劃せんとしてあるヒュームパイプの優秀なる性能に就ては先年本誌に紹介をして斯界先輩の大なる注意を引きたるが最近其の需要は頗る増大し東京市電東京電燈其他に於ても多量に採用しつゝあるが、更にヒュームパイプは『柱』としても好評を博しランプポスト等にも應用さるに至つた、之が製造元たる日本ヒュームコンクリート株式會社は昨夏瀧山米太郎氏専務に就任以來本社を京橋區三十間堀に移すと共に社名を日本ヒューム管株式會社と改稱し社業益々進展の由。

箸藏寺
築道

徳島縣と香川縣を連絡する土讃北線開通と共に徳島縣の名刹箸藏寺を天下に紹介する機關として高松市の矢野金治氏は新箸藏驛から箸藏寺まで一里の山道にケーブルカーを設けるべく出願、竣工は八月中の由。

石州赤瓦
一轉機

島根縣工業試驗場では西洋建築用タイル製造に着目し同試驗場で石州赤瓦の原土を利用するタイル製造試驗を行ひ二月十三日よいよ終了したが非常の好成績でその色彩の如きも千種萬様思ふまゝに現はすことができ、しかも原土は豊富で勞銀も安く出来るので同場としては大なる確信のもとに今後石州瓦製造者にタイルの製造を奨励指導して大量生産をなし今後都會地に向け移出する計畫である由。

○静岡縣 曳馬村 の大黒橋架橋工事中セセチリタンク爆破し死傷六名。

○香川縣 の天才平賀源内の銅像を志度町に計畫。

○小河原藤吉 氏は鐵道省を辭し川崎車輛會社設計部長に就任の由下田専務より發表。

○竹中治郎 工政會編輯部の同氏は今回倉橋理事等の推薦にて雜誌工業商報を發刊。